

日本大学三島高等学校 同窓会会報

第 19 号

平成 2 年 3 月 1 日
静岡県三島市文教町 2
日大三島高校同窓会 発行

御 挨 拶

会長 高 田 菊 平



会員の皆様におかれましては、お
变りなく御活躍のこととお慶び申し
上げます。おかげ様で同窓会もつづ
がなく歩みを続けておりますこと、

大変ありがたく御協力に厚く感謝申し上げます。

平成元年度は変動の激しい年でありました。新年号
「平成」の制定から始まり、消費税の実施、参議員選挙
での保守の惨敗、貿易自由化への米国の圧力の増大、中
国天安門事件、米ソのトップ会談、ひいては東欧の自由
化への変動、などなど、どれをとらえても80年代の歴史
の一ページをかざるものとなっています。経済の動向は
大変な好景気にめぐまれて平成元年がすぎてきましたが、
平成二年にいたっては、その継続がみられるものの、イン
フレ、金利高騰等、物価の上昇はさけられない様想で
あり、それらが景気の今後に大きく影響を与えるもので
あらうと感じております。

会員の皆様方も1990年代をむかえ、それぞれの分野で
現在の世相を肌で感じて、対応していく為に努力されて

おられると思いますが、一層の御奮闘を期待しておりま
す。

さて、昨年は母校の野球部が、夏の甲子園大会初出場
という栄誉を獲得しました。会員の皆様方も、それぞれ
「心踊るひととき」を過されたことと思います。その節
には、皆様方の絶大な御支援をいただき、同窓会として
もその存在の面目をはたすことができましたこと、重ね
て感謝申し上げます。

母校の発展は会員にとりまして大変心強いものであり、
その為の応援はおしまないものでありますが、これらを
通じて、会員相互のコミュニケーションが増大するこ
とを強く期待するものであり、それによって、同窓会活動
の活性化へつながるものであると信じております。

今後とも、ぜひ同窓会発展の為又母校発展の為、御支
援賜わりますようお願い申し上げます。また20世紀最
後の10年となりました1990年代、皆様方の御活躍と御健
勝を祈念して御挨拶といたします。

(平成2年1月6日)

第1期生・ニューデルタ工業株式会社社長

(三島市梅名)

野球部
夏の甲子園
念願の初出場





御挨拶

校長 北岡 功

昨年の本紙上に発表させて頂きました、本校創設三十周年を期しての、制度の上では特進コース

の定着、また現一年生からの制服の改訂など、新・旧の相あざなう中で平成二年の春を迎えたわけであります。

とりわけ昨春制定したばかりの本校独自の校歌が、夏の甲子園への県大会で一戦ごとに熱を帯び、見事、県制覇の祝盃の歌になり変わったことは、作詞者、高梨公之総長への何にもまさる報恩となったことを共に欣びたいものであります。これに続いての写真部、放送部、美術部の、そして水泳部諸君による団体あるいは個人における全国一の金字塔に対しての賛辞をも惜しまないものであります。

当初十一月ごろの竣功と踏んでおりました本校本館とも申すべき第十四号館の建設も、予想外に工事が捗り、本年六月の末には落成の目処がついたようであります。

嬉しい極みであります。

話は飛びますが、宗家、日本大学の創立百周年の記念式典が、昨秋十月四日に天皇、皇后両陛下の行幸・啓を仰いでとり行われ、本学史上三回目の感激にひたったことであります。この欣びと誇りの蔭に、どれほどの数知れない辛酸と苦悩の歩みがあったことか、それらを耳にし目にする程に、私ども三島付属の三十年のそれはまだまだ序の舞いにすぎぬと臍を固めるばかりであります。

宗家、日本大学への進学評価は年ごとに高まり、私も付属高校にとっても、それと比例して厳しい登龍の門になっていることはご承知の通りであります。ここ数年、とみに皆さんのご子弟が本校に進学、在籍されておりますが、生半可な学習生活では大学への進学は覚束ないぞ、叶わないぞ、と格別のご督励をお願いしたいものであります。勿論、現場にある私どもとて補習、講習、七時限授業…と、厳しく当たらせて頂いておりますが、まだまだ付属生としての甘さが拭いきれません、何とぞ父として母として、また先輩として家庭の師として対応して頂きますよう重ねてお願い申しあげる次第であります。

このたびの卒業生（第三十期生）1,182名の面倒をよろしくお願い申し上げます。（二年一月二十七日）

新入会員を迎える

歓迎の言葉

沼津支部長

今井 信之（一期生）



同窓会入会お目出とうございます。

高校生活の中で、君達は野球部の甲子園出場という栄誉をうけ、楽しく短い一年だったと思います。今までに春の高校選抜野球出場はありましたが、野球は夏に勝たなければならないと思います。

甲子園で敗れはしましたが、自分達の時代に静岡県代表になり、学校の在校生・同窓生・学校関係者を一つにして応援させた事は誠によろこばしい事と思います。同窓生の中には10年前、20年前、30年前の日大三島高校在学中を思いおこした人も多かったと思います。いろいろの歴史や基礎というものはこうして出来て行くものです

ね。これからも野球部員だけでの甲子園出場はありえません。君達全ての力があったからと思います。どうもありがとう。

さて、いろいろ高校生活の中では楽しい事が多かったと思いますが、これから社会に飛び出して行く人、大学へ進学し勉強する人にしても、高校時代では社会が今の様な動きをしているか考えた事はあまり無かったと思います。君達が今生活をしている時代は、世界に目を向けると、ソ連のペレストロイカに始まり、ベルリンの壁の開放、東欧諸国の共産党主体の政治から民主化を目指す自由な世界へと変貌しつつあります。お隣の中国でも、君達より3つか4つ年上の大学生が中心になってあの大きな中国を動かそうとしています。

これからの時代は君達の時代です。個人個人がいろいろの分野に自分で選んだ道を進んでいかれると思いますが、自分のアンテナをしっかりと持ち縦横に張り巡らす事が大切です。そして、一つの事件や他人の思考などに

横山 栄蔵 先生 定年によって退職される



恩師、横山栄蔵先生は、平成2年1月31日をもってめでたく定年退職をされました。

先生は、昭和43年4月1日、母校工業科に奉職されました。以来、52年4月からは女子部、58年4月には男子1科、59年4月には男子2科、そして60年4

月からは男子部で教鞭を執られました。

先生は、まさに昭和の激動の時代の中に青春を送られました。そして、その真実なる体験をもって、我々同窓生を世に送り出してられました。先生の未来がより豊かであられますことを祈りつつ、同窓生一同、心より御礼申し上げる次第であります。

***** クラス幹事 *****

1組 渡 辺 尚	A組 木 村 美 紀
2組 鈴 木 正 美	B組 久保田 美智子
3組 近 藤 栄	C組 岩 本 すず代
4組 鍋 倉 茂 彦	D組 山 下 美 砂
5組 穂 積 啓 之	E組 鈴 木 恭 子
6組 大 川 正	F組 青 木 めぐみ
7組 木 村 誠	G組 渡 辺 美 江
8組 高 瀬 智 幸	H組 古 澤 依里子
9組 榎 本 哲 也	J組 三田村 圭 子
10組 秋 山 信 一	K組 利根川 悦 子
11組 榛 村 純 一	※ 以上の幹事さんたちを中心
12組 植 田 真 祥	として協力し合
13組 石 田 圭 一	い、クラス会などを
14組 梅 根 一 夫	ひらいてください。
15組 中 澤 成 浩	再会の日を楽しみに
16組 杉 山 圭	して。

ぶかった時、自分ならどうするだろうと、考えてみる事が重要なのです。これからは、見る物・聞く事・感じた事の全てが勉強だと思って下さい。

ある銀行の調査で、30歳の人に10代・20代でし忘れた事は何か、の問いに対して第一位は「もっと勉強をしておけば良かった」との事でした。常に反省の心を持って前進しましょう。皆さん、がんばって下さい。

入会にあたり

30期生代表

力 石 秀 信



私達、平成元年度卒業生は、3年間の教育過程を無事終了し、はれて第30期生として同窓会に入会させて頂くということになりました。本年度は、日本大学創立100周年、また野球部の夏の大会初優勝などなど、平成の時代の幕明けにもっとも相応しいといった感じの一年でありました。これもひとえに、

先輩の皆さんが常日頃から、母校「日本大学三島高等学校」のことを、あたたかく見守って下さったおかげだと私達は心から思います。

そのことと合わせまして、本校の同窓会に入会させて頂くことを心からお礼申し上げます。

さて、これから私達は同窓会に入会することによって今まで先輩の皆さんがして下さったように、見守られる人から見守る人へと転身するわけですが、慣れるまで時間がかかるかもしれませんので、なにとぞよろしくお願い致します。

私達は、これから進学、就職とそれぞれの道に進むわけですが、期待と不安で一杯です。また、いつ大きな壁や暗礁に乗り上げるかもしれません。しかし、そんな時、高校での友達との楽しかった日々や、先生に怒られたことなどを思い出すことによって、その暗礁を乗り越えていけるような人間になればと思います。

高校での三年間で蓄積された知識や道徳を生かし「日本大学三島高等学校」の名に恥じないよう、十年後にせまる21世紀に向って精一杯生きていきたいと思っております。沢山の先輩の皆さん、どうか第30期生のことを宜しくお願い致します。

母校だより



桜陵祭 平成元年5月19日～21日

テーマ・「今日の輝き未来に向けて!!」



シンボルゾーン



伝 統

1年・合唱コンクール

2年・仮装行列

3年・農兵節踊り



美しい花壇づくり



演劇教室 平成元年11月
9日・10日

『孤松は語らず』(歌舞伎座)
日本大学百周年記念行事

日本大学出身の市川團十郎が、日本大学の学祖である山田顕義を演じた。1年生の男女全員が、視聴覚教育の一環として鑑賞した。



雨の中の日大体操
国立競技場・1年男子
平成元年10月7日

横浜博覧会 平成元年7月
全校生徒が参加した。



— 朝 —



— 芸 —

甲子園へ



三島駅での壮行会

テレビ静岡・トークショー
「なつかしの校歌がききたい」

平成元年10月12日／母校校庭で

写真左から、野球部・五十嵐君。水泳部・中谷君。
母校卒業・小永井清美さん。テニス部・日置君。
柔道部・木村君。

何故甲子園

教諭 藤田 紀 弥

過日同窓会の席に招かれ大変
懐かしい顔ぶれに接し心の洗濯を
し、皆様に感謝しております。

五十の丁度中路で早くも30年
近く在職しております。色々の

思い出は一言では語ることは出来ません。私が野球が好きでたまらないのは皆様が良く知っていることですが、スポーツが全部好きなのです。特に6・3制野球ばかりがうまくなり、言う川柳が私の中学二年のときに流行しました。五十五歳の人にとれば、野球を切って考えられない人生です。私が日大三島にいる限り絶対に甲子園に出ると言うのが、渡辺勝重先生がやっていた頃から芽ばえていて、夏には静岡に何度も甲子園の切符を奪われた苦い味を、やっと森下監督で実現しました。在職している間に日大三島を卒業した皆様に、スポーツが好きでない人にも、ふと母校を感じてもらうことが私の夢だっ

たのです。全国紙と17日間ぶっ続けに放映するNHKに出ることが一番良いからです。呟啄の機と言うのは、親と子の考えを一致する時と言うから、卒業生及び在校生と甲子園の中で一緒にたになって、その機を得たことは、本当に幸福者と深く感謝しております。

これからも何回もこの機のくることを期待しております。皆様の御健勝と御多幸を心より願いつつペンを置きたいと思います。頑張って良い社会を築いて下さることを祈ります。



森下監督・渡辺副部长・藤田部長を囲んで

燃える部活動

運動部

◎全国総合体育大会県大会

- ・団体 総合優勝 スケート部 (20連勝)
総合優勝 水泳部 (男子・女子)
準優勝 柔道部・庭球部 (男子・女子)

◎全国総合体育大会東海大会

〔東海大会出場部〕

- 水泳部 (男子・女子) ・陸上競技部 (男子・女子)
- 庭球部 (男子・女子) ・柔道部・卓球部 (男子)
- 体操部 (女子)

〔成績〕

- ・団体 3位 水泳部 (女子)
庭球部 (男子・女子)
- ・個人 1位 水泳部 (女子)……中村あつ子(800M自由)
柔道部……木村善一 (95kg超級)

◎国民体育大会

〔出場部〕

- 水泳部 (男子・女子) ・庭球部 (男子) ・柔道部
- スケート部 (男子・女子)

〔成績〕

- 1位 水泳部 (男子) ……中谷弘幸 (200Mバタフライ)

◎サンタクララ国際大会 (アメリカ)

- 水泳部 (男子) 4位 中谷弘幸 (200Mバタフライ)

◎オレンジボール (マイアミ)

◎サンシャインカップ (アメリカ)

- 庭球部 (男子) 日置映正 (日本代表)

◎全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会

- 庭球部 (男子) シングルス優勝 日置映正

全国高校総合体育大会全国大会

〔全国大会出場部〕

- 水泳部 (男子・女子) ・庭球部 (男子・女子)
- スケート部 (男子・女子)

〔成績〕

- ・団体 (学校対抗) 8位 水泳部 (男子)
- ・個人 1位 水泳部 (男子) ……中谷弘幸
(200Mバタフライ)

全国選抜高等学校選手権大会

庭球部・男子・女子

— 男子は2年連続2回目 —

— 女子は4年連続5回目 —

北九州プリンスホテルテニスセンター

3月22日～25日

※ 同窓生みんなで健闘を祈っています。

文化部

<放送部>

◎第36回NHK杯全国放送コンテスト

ラジオ番組課題部門 「我ら自由走行族」

全国大会 優秀賞

◎第27回全国高校放送コンクール

映像制作テレビ部門 「ただいま大混乱」

全国大会 最優秀賞 (文部大臣賞受賞)

◎全国高校生ポスター・絵画・映像コンクール

映像部門 銀賞 (全国2位) 「時代」

<美術部>

◎全国高校生ポスター・絵画・映像コンクール

学校特別賞 (全国2位相当)

絵画部門 銀賞 (全国2位)

<写真部>

◎静岡県民テレビ'89夏の高校野球フォトコンテスト

金賞 (1位) 吉田稔彦

◎第13回全国高校野球フォトコンテスト

最優秀学校賞 (全国1位)

最優秀賞 (全国1位) 吉田稔彦

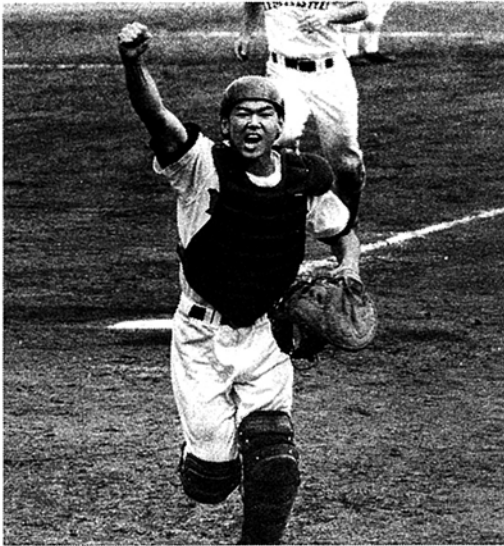
※その他、活躍したものが多くありましたが、紙面の都合で割愛しました。

ニュース

※母校教諭でスケート部部長の竹内和博先生が、第38回静岡新聞スポーツ賞を受賞されました。

※前野球部キャプテンで、甲子園で活躍した五十嵐崇光君が、日本学生野球協会表彰選手に選ばれました。

※同窓会は、表彰規定にもとづき、中谷弘幸君 (水泳部・筑波大学進学決定) と吉田稔彦君 (写真部・日大芸術学部進学決定) に、奨励金 (10万円ずつ) をおくことにしました。今後の活躍を祈ります。



(第13回全国高校野球フォト・コンテスト) 最優秀賞 吉田稔彦君の写真

女子7期生の同窓会をひらいて

幹事代表 萩原美穂(旧姓・新妻)

初めての同窓会、慣れない仕事にとまどいながら、「何人集まるかしら」まず、そんな不安から始まった幹事の仕事でした。

現校長の北岡先生、3年の時の担任、塚尾・根本(植村)両先生そして44人の同窓生の出席のもと、3時間が、あっという間に過ぎました。22年も会っていないと人は変わってしまうのでしょうか?ところが変わらない顔・顔・顔。話はつきませんでした。次回の幹事を決め、2年後の再会を約束し、散会しました。幹事として、やり残した事がいっぱいありそうです。反省会を開かなくては…。

平成元年度事業報告

1. 総会・10月21日 田代グリル

(1)開会の辞・(2)会長挨拶・(3)母校校長挨拶

(4)議事

イ、昭和62年度事業報告・ロ、昭和63年度事業報告
ハ、昭和62年度決算報告・ニ、昭和63年度決算報告
ホ、役員改選・ヘ、平成元年度事業計画
ト、平成元年度予算案・チ、その他

(5)閉会の辞

懇談会

(1)開会の辞

(2)来賓挨拶

野球部夏の甲子園出場結果報告

藤田部長・渡辺副部長・森下監督

(3)乾杯・(4)懇親会・(5)(新)校歌斉唱・(6)閉会の辞

2. 幹事会

- (1)8月2日・櫛・甲子園出場の件
- (2)8月8日・母校本館・預り書回収
- (3)2月3日 田代パレス
 - ・第30期生同窓会入会式について
 - ・会報19号発行の件

3. 事業

- (1)2月24日(土)・母校8号館

イ、第30期生同窓会入会式

ロ、記念講演会

日本作家クラブ名誉会員

江崎 惇氏・「郷土とわが青春」

- (2)3月1日・同窓会会報発行・第19号

4. 支部

・田方支部 5月12・大仁 田中屋

8月3日・4日・大仁 木の実

※その他の支部においても甲子園関係のための会合が多くありました。

5. その他

- (1)新年会 2月3日 田代パレス (2)事務局会 2回

各支部長一覧

支部名	三島	田方	沼津	御殿場	裾野	富士	富士宮	清水	静岡	熱海	小田原
氏名	久保田 光	山田 守宏	今井 信之	武藤 康徳	勝又 国佳	西村 雅幸	秋山 一雅	久保田 容弘	松下 悟	米倉 久高	川口 功一
住所	駿東郡清水町柿田九	田方郡大仁町立花三二二三	沼津市市場町一〇一	御殿場市新橋一九七六	裾野市深良一五五一	富士市横割六一二二五	富士宮市浅間町四一五	庵原郡富士川町岩淵七八一三	島田市横井四一一二三	熱海市清水町九一二	小田原市東町四一〇一
T E L	〇五五九七一一九二二	〇五五八七六一五〇二	〇五五九三二一七八七	〇五五〇八二二二四八	〇五五九七七一三九二	〇五四五六一一五一七五	〇五四四二六一三八四八	〇五四二八一一〇八八八	〇五四二四五一八三二五	〇五五七八一三〇九三	〇四六五三四一〇四六四

14号館の建設開始



平成2年6月竣工予定



第30期生・同窓会入会式

平成2年2月24日

記念講演会

「郷土とわが青春」

歴史小説家・江崎 惇氏

(左写真)

日本作家クラブ名誉会員

日本ペンクラブ会員

静岡県ユネスコ協会会長

◆◆◆◆ 主な作品 ◆◆◆◆

「徳川家康と女人たち」

「現代郷土偉人伝」

「頼朝をめぐる女達」

「ドキュメント明治の清水次郎郎」

など多数



対面式 — 平成元年度より新しい制服となった —



第29期生・同窓会入会式・平成元年2月25日

記念講演会・「道は拓ける」

阪神タイガース球団・田宮 謙次郎氏

14号館建設にとも
ない、工業科記念
碑は希望の森に移
された。